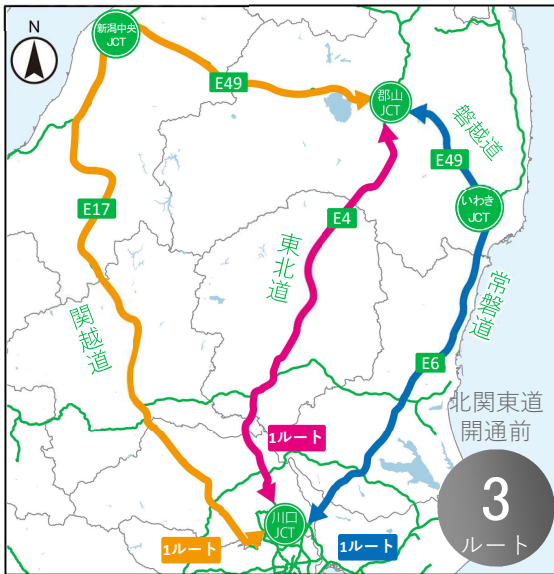


## 広域的な高速道路ネットワークが拡充

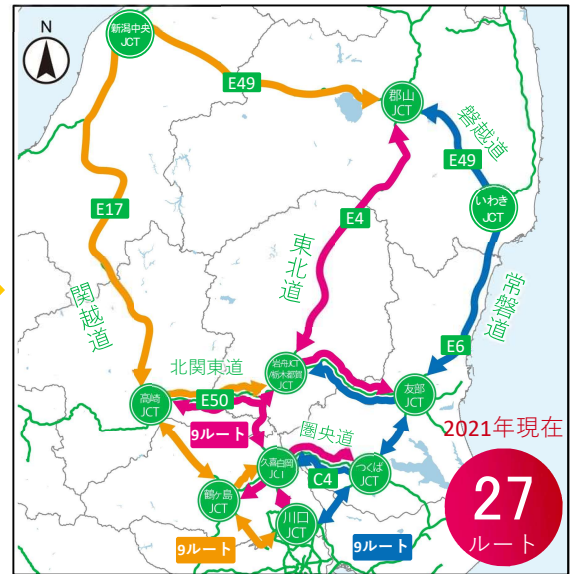
関越道、東北道、常磐道と接続することで、高速道路ネットワークが拡充。多様なルート選択により、**災害時のリダンダンシーの確保や渋滞回避が可能に！**

### 川口JCT～郡山JCTの移動ルート例

#### ●北関東道開通前



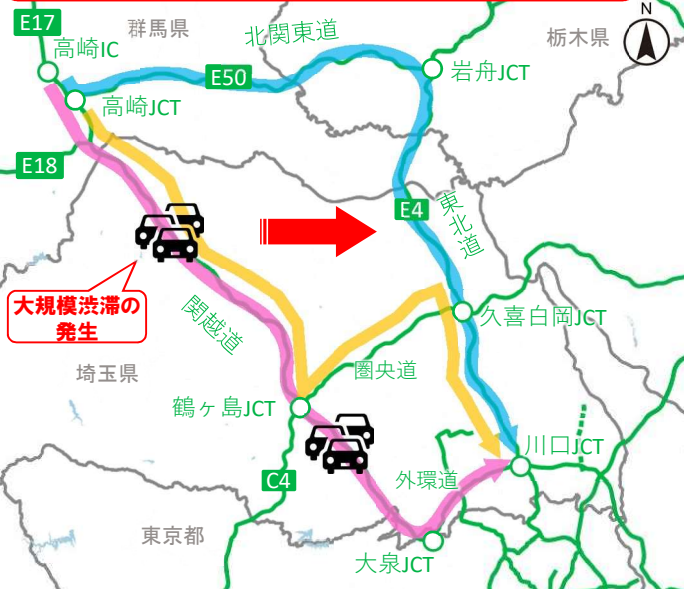
#### ●2021年現在



### 渋滞時の北関東道利用による時間短縮

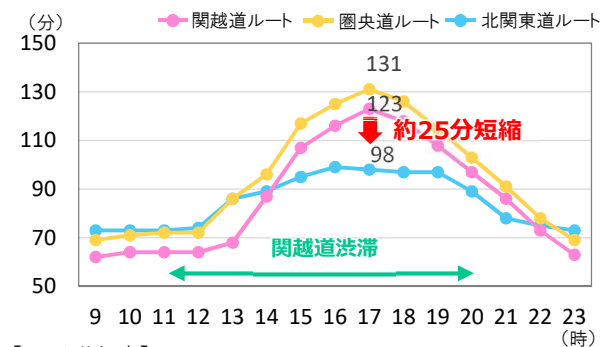
#### ●関越道からの迂回ルート

関越道の大規模渋滞発生時、北関東道へ迂回することで、所要時間が最大約25分短縮。最大約7割の車両が北関東道経由を利用。

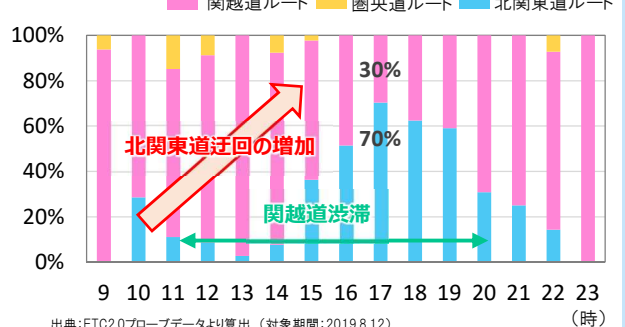


関越道ルート：高崎IC→関越道→大泉J→川口J【97km、普通車・通常料金3,770円】  
 北関東道ルート：高崎IC→北関東道→東北道→川口J【116km、普通車・通常料金3,420円】  
 圏央道ルート：高崎IC→関越道→鶴ヶ島J→久喜白岡J→川口J【97km、普通車・通常料金3,420円】

#### 【所要時間】



#### 【ルート分担率】



出典：ETC2.0プローブデータより算出（対象期間：2019.8.12）  
 ※ルート分担率は各ルートを通じたプローブ車の比率  
 ※所要時間は経路を問わず全プローブ車の平均空間速度より追跡時刻とで算出